せせらぎ三島ロータリークラブ
Seseragi-Mishima Rotary Club

SESERAGI－MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週　報

2026～2027年度　RI会長　オラインカ・ハキーム・ババロラ
RIテーマ　CREATE LASTING IMPACT

クラブテーマ「関わるすべての皆様と　夢、喜び、心からの感謝　の共鳴」
会長 小島　真　　幹事　藤川智徳

第1648回 例会

2026.9. 4(金)雨

司会：　高橋大輔君

ロータリーソング「奉仕の理想」 指揮：宮澤友一君

事務所　三島市泉町9－8　1F南
TEL.055－976－6351 FAX.055－976－6352
http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp
せせらぎ三島ロータリークラブ　検索
例会場　呉竹
TEL.055－975-3210
毎週金曜日　第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長　小島　真君

皆さんこんばんは。
本日の会長挨拶は、ロータリーの友9月号より、RI会長のメッセージの紹介を致します。
ロータリーは、常に「人」を大切にしてきました。プロジェクトではなく、数字でもなく、「人」です。2030年の創立125周年までに、ロータリアン125万人、ローターアクター12万5000人を達成するという私たちの目標も、やはり「人」に焦点を当てたものです。皆さまのクラブで簡単な振り返りをしてみてください。過去5～7年を鑑みて、最も良かった年度を見つけるのです。新会員が入会し、さらに彼らの維持に成功した年度だったかもしれません。また、忙しい予定の中でこなさなければならない義務的な例会ではなく、会員たちが待ち望む例会を行った年度だったかもしれません。その年度を見つけ、それを超えていただきたいのです。なぜこの2030年の会員数目標が私にとって重要で、何度もこの話題にもどってしまうのでしょうか。これらの一つ一つの数字の向こうに、ロータリーによって人生が変わる可能性がある人がいるからです。私や皆様が、ロータリーによって変わったのと同じように。私はロータリーを通じて、何十年も続く友情、自分が求めていたことすら気付かなかった生きがいを得ることができました。また、ロータリーが家族のような大切な存在になりました。皆様の多くも、それぞれの人生において同じ思いを抱いているのではないでしょうか。次世代にも影響を与える持続可能なインパクトを生み出したいのであれば、私たちの活動を前進させてくれる、より多くの仲間が必要となります。今月だけでなく、毎年、毎月、みんなで力を合わせていきましょう。ロータリーをより強く、より喜びに満ちたものにし、私にとって常にそうであったように、家族のような存在にしていきましょう。皆さまの最高の年度を見つけてください。そして一緒にその最高を超えていきましょう。

振り返ってみますと、それぞれの年度に様々な良い思い出がありますが、新会員の数では神セブンの仲原年度でしょうか？7人みんながそれぞれ活躍してくれています。
本日の卓話はクラブ協議会です。進行は仲原パスト会長です。そんな素晴らしい年度のことも思い出しながら協議していただきたく思います。

出｜席｜報｜告｜

	出席総数	出　席　率	メークアップ	修正出席率
前々回	30/43	69．77%	35/43	81．40%
今　回	38/44	86．36%	会員総数	44名

欠　席　者　あなたが見えなくて残念でした。
伊丹君、加藤君、小林君、杉山君、山田君、吉村君



スマイルボックス

服部光弥君：明日のゴルフ行けなくてごめんなさい。晴れることを祈っています。楽しんで来てください。

9月度理事・役員会報告

日時　　2026年9月4日（金）
場所　　呉竹（例会場）
出席者　（理事）小島、原（兄）、藤川、高橋（大）、高村、大川（代理）（役員名省略）田村、三輪、高橋（麻）、成川、加藤（貴）、服部（役員）新井、大庭、仲原、米山、大村
議事録
1，会長挨拶（小島会長）
2，協議審議事項
①社会奉仕委員会
エンドポリオについての卓話を地区に依頼→【承認】
②幹事
結婚祝い金を授与＝渡邉仁也君・杉山寿美子君→【承認】
3，連絡報告事項
①親睦委員会　農兵節（夏の家族会）の収支報告
②職業奉仕委員会
9月25日(金)を昼例会とし、野村君の議会質問の見学
③国際奉仕委員会
カンボジア事業渡航（1月28日～2月1日）日程の決定
④幹事　理事役員のための研修会（9月17日）
⑤クラブ行動計画　新人研修（9月7日・9月25日）
⑥青少年奉仕委員会
日大生による子供の居場所つくり及び廃棄野菜でギネスチャレンジの事業　途中経過報告

クラブ協議会

仲原実圭君

今日はクラブ支出の分担金がどのように使われているかを簡単に見ていきましょう。

①RI人頭分担金

国際ロータリーへの分担金です。世界中のロータリークラブをまとめる国際組織です。ロータリーは世界120万人規模のネットワークで、RIはその運営・方針・プログラム・国際大会などを担います。・ロータリーの世界的な方針を決める ・クラブ・地区を支援する ・国際大会を開催 ・ロータリーのブランド・広報 ・会員制度 ・世界的なプログラム ・RI人頭分担金の管理

②規定審議会分担金

ロータリーの「ルールを変更する」ための機関です。世界各地から選ばれた代表議員が集まり、RI定款、RI細則 、標準ロータリークラブ定款 などの変更を審議します。各地区からの代表議員が投票します。

③ロータリー財団（TRF）寄付金

ロータリアンから寄付を集め、そのお金を奉仕活動に回す財団です。RI公式資料でも、RIとロータリー財団は異なる法人と明記されています。主なものは、地区補助金・ グローバル補助金・ ポリオプラス ・ロータリー平和フェローシップ ・奨学金 ・人道的奉仕に使われています。

※ロータリー財団の始まり

ロータリー財団の原点は1917年です。当時のRI会長　アーチ・C・クランフ（Arch C. Klumph）が、アトランタで開催された国際大会で、「世界でよいことをするための基金」を設けることを提案しました。「ロータリーが将来も奉仕できるように、資金を蓄える仕組みを作ろう」「その年度の奉仕活動のためだけにお金を集めるのではなく、将来のロータリアンが世界で奉仕できるように資金を残す」という目的で設立されました。

寄付の種類	主な目的	お金の性格
・年次基金	ロータリー財団の通常の奉仕活動	現在の奉仕に使う
・恒久基金	将来の財団活動を支える	元金を維持し、運用益を活用
・ポリオプラス基金	ポリオ根絶	ポリオ根絶に集中
・災害救援基金	災害被災地支援	災害対応
・大規模災害基金	大規模災害への支援	大規模災害対応
・承認されたグローバル補助金	特定の奉仕プロジェクト	プロジェクト指定

寄付した人への認証

・ポール・ハリス・フェロー（PHF）　累計 1,000米ドル

・マルチプルPHF　さらに1,000ドル単位で累積

・ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）　原則、年間 1,000米ドル以上

・ベネファクター　恒久基金へ1,000米ドル以上を寄付・遺贈等

・メジャードナー　累計 10,000米ドル以上

④米山奨学金

正式には、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会が実施する奨学事業です。目的は日本に留学している外国人学生を支援し、「日本と母国をつなぐ人材」を育てるという国際奉仕事業です。米山奨学生には、単にお金を渡すだけではなく、・世話クラブ ・カウンセラー ・ロータリー例会への参加 ・ロータリアンとの交流 ・日本文化への理解 ・国際交流 という特徴があります。現在、2025学年度は964人の米山奨学生がいます。累計では 24,830人、134の国や地域に及んでいます。

※米山奨学金制度設立の所以

米山梅吉は生前、向学心がありながら経済的に苦しい若者・学生を、個人的に援助していました。特に確認できる代表的な事例は、・大学進学後、学費に困っていた青年への3年間の学費援助 ・東南アジアからの留学生への物心両面の援助 ・青山学院の初等教育のために私財を投じ、小学校・幼稚園を創設 ・さらに、児童保護・育児・福祉施設などへの広範な支援「自分自身が苦学生として学んだ経験から、学ぶ機会を求める若者を生前から支援し、教育と人材育成に私財を投じた人。その精神を後世の日本のロータリアンが受け継いで始めたのが米山奨学事業」米山梅吉翁逝去後6年経った1952年、東京ロータリークラブの古沢丈作会長が提案、発足し、現在では日本最大の奨学制度となっています。

⑤米山梅吉記念館寄付

これは米山奨学会とは別です。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会と米山梅吉記念館は別の組織・施設として考える必要があります。

米山記念館の役割

日本のロータリーの父ともいえる米山梅吉翁の功績や、日本のロータリーの歴史を後世に伝えることが中心です。つまり、

米山奨学会＝外国人留学生を支援する事業

米山記念館＝米山梅吉と日本ロータリーの歴史を保存・伝承する施設

記念館の運営・維持・管理等の費用に使われています

⑥地区資金分担金

地区は、簡単に言えば、RIと各ロータリークラブの間に立つ地域単位です。

・ガバナー ・地区幹事 ・地区委員会 ・地区大会 ・地区研修 ・会員増強 ・ロータリー財団 ・米山奨学生 ・青少年奉仕 ・地区補助金

特に地域社会で事業を行う際のTRFの地区財団活動資金（DDF）の配分は重要です。

※奉仕活動の原点

シカゴ市に公衆トイレを寄贈した（1907年喚起、1909年寄贈）、その公衆便所をつくったきっかけは、4人のロータリークラブの創設者の1人、ガラス製造業のツウィード氏が知人の弁護士ドナルド カーター氏に入会を勧めたところ「単にメシを食う会なら入会はお断り、何か有意義なことをするならば大きな将来性をもっているので何かをするべきだ。それなら入会する。」というのがきっかけでした。そこでシカゴRC第三条に次の文章を加えました。1906年『社会奉仕概念』「シカゴ市の最善の利益を推進し、その市民としての誇りと忠誠心を普及せしめること。」「誇りと忠誠心」シカゴロータリークラブ設立からわずか1年後の出来事でした。

おめでとう

会員誕生日	7月25日	大村典央君
	9月5日	原　兄多君
	9月9日	服部光弥君
入会記念日	9月1日	渡邉仁也君
	9月16日	大庭靖貴君



